

アンケート回答用紙

◇記入上の注意

- ・アンケートは、震災時に荒浜地区において防災集団移転の対象となった世帯の代表者の方あてにお送りさせていただいておりますが、ご記入にあたっては、ご家族でご相談のうえお答えいただいても結構です。
- ・ご記入いただいたアンケート用紙は、お手数ですが、同封の封筒に入れて、**平成27年11月9日（月）まで**にポストに投函して下さい。

問1 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- ① 男 ②女

問2 あなたの年齢（H27.10月現在）をお答えください。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- ① 10代 ②20代 ③30代 ④40代
⑤ 50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80歳以上

問3 震災前にお住まいだった地区をお答え下さい。あてはまる番号に1つだけ○をつけて下さい。

- ① 荒浜東町内会 ② 荒浜西町内会 ③ 荒浜南町内会
④ 荒浜北町内会 ⑤ 荒浜新町町内会

裏面に続く

問8 地域の歴史や震災の記憶、鎮魂を表すモニュメントのコンセプトとなるような、荒浜地区を表すイメージ・キーワードなどについて、具体的なアイデアがございましたらご自由にお書き下さい。

[]

問9 荒浜地区の集団移転跡地の利活用についてお聞きします。

仙台市では、「荒浜小学校を震災遺構として保存し、モニュメントを整備することで、震災の記憶と経験を未来へつないでいくとともに、多くの方々が訪れるよう、この地区の特性を踏まえた、様々な活動を展開できる場と利活用していく」ことが重要と考えております。
この考え方について、どのように感じますか。

- ① 良い ② おおむね良い
③ あまり良くない ④ 悪い

問10 問9で**③、④と答えた方**にお聞きします。

どのような点が悪いと感じましたか。ご自由にお書き下さい。

[]

問11 荒浜地区 荒浜小学校遺構保存等に関するご意見や提案などがありましたら、ご自由にお書き下さい。

[]

ご協力ありがとうございました。

荒浜小学校校舎の震災遺構保存・活用(案)について

1 保存・活用の基本コンセプト

被災した校舎のありのままの姿を見せることを目的とし、極力手を加えない保存・活用をしていくことを基本とする。

- (1) 現物の見学により、津波の脅威を実感する施設 → 極力手を加えない保存
- (2) 屋上からの眺望により、津波避難施設の必要性、かさ上げ道路や海岸堤防、避難の丘等の津波防御などについて学ぶ施設 → 屋上へのアクセス確保
- (3) 教室の一部を展示スペースとして活用し、震災当時の様子や、被災前後の荒浜地区の様子、町並みなどを後世に伝える。 → 校舎の一部への立ち入りを可能に

2 震災遺構保存・活用(案)

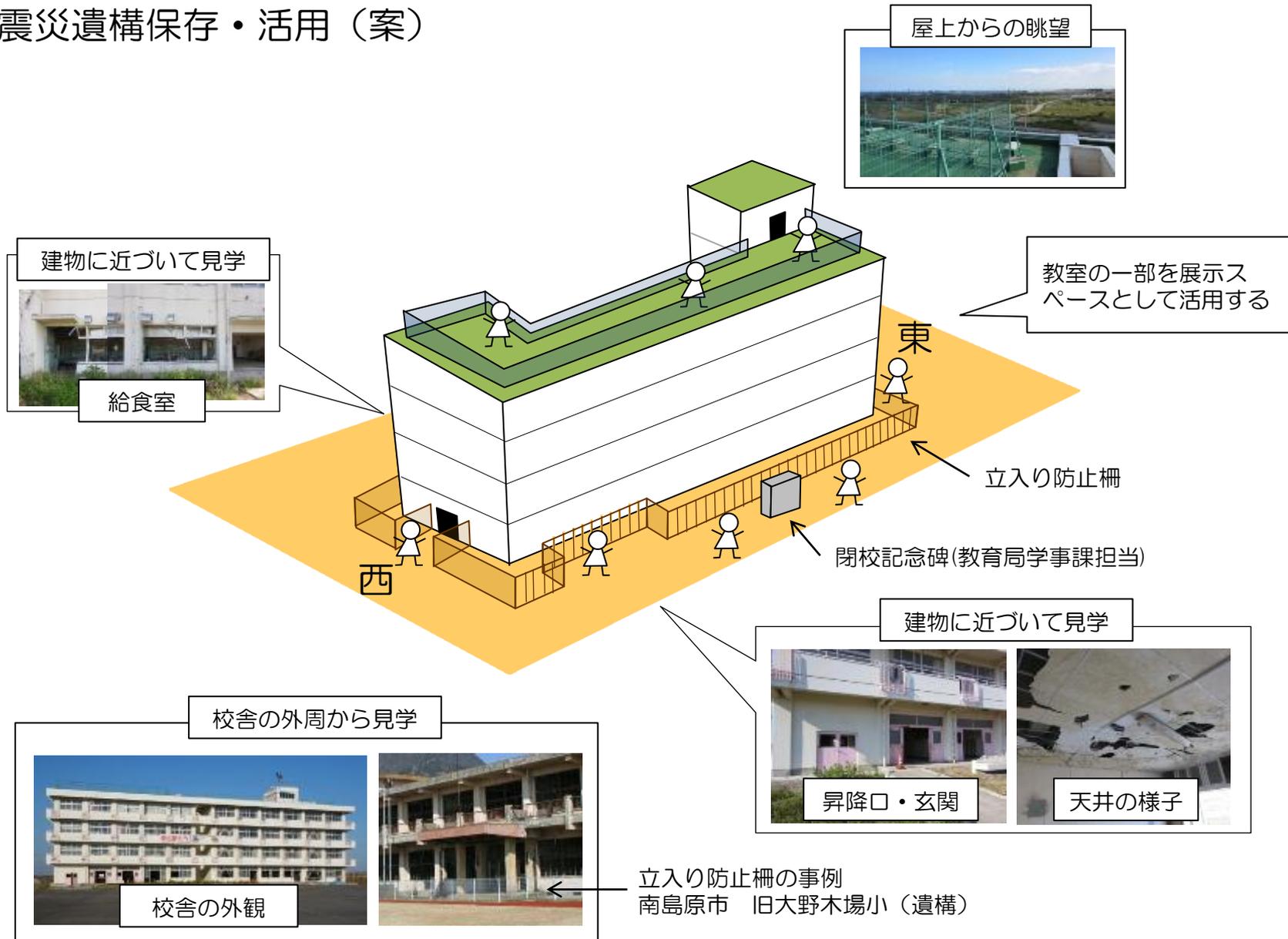
(1)保存(改修)・活用(案)について

- ・屋上、校舎の一部への立ち入りを前提に、見学者の安全確保の観点から、立ち入り防止柵の設置や危険箇所(壁、天井材の落下等)の改修など、必要な範囲で手を加える。
- ・法令等により必要となる設備等(消火器、非常照明等)を整備する。
- ・活用のイメージは、別紙「資料①-1」のとおり。

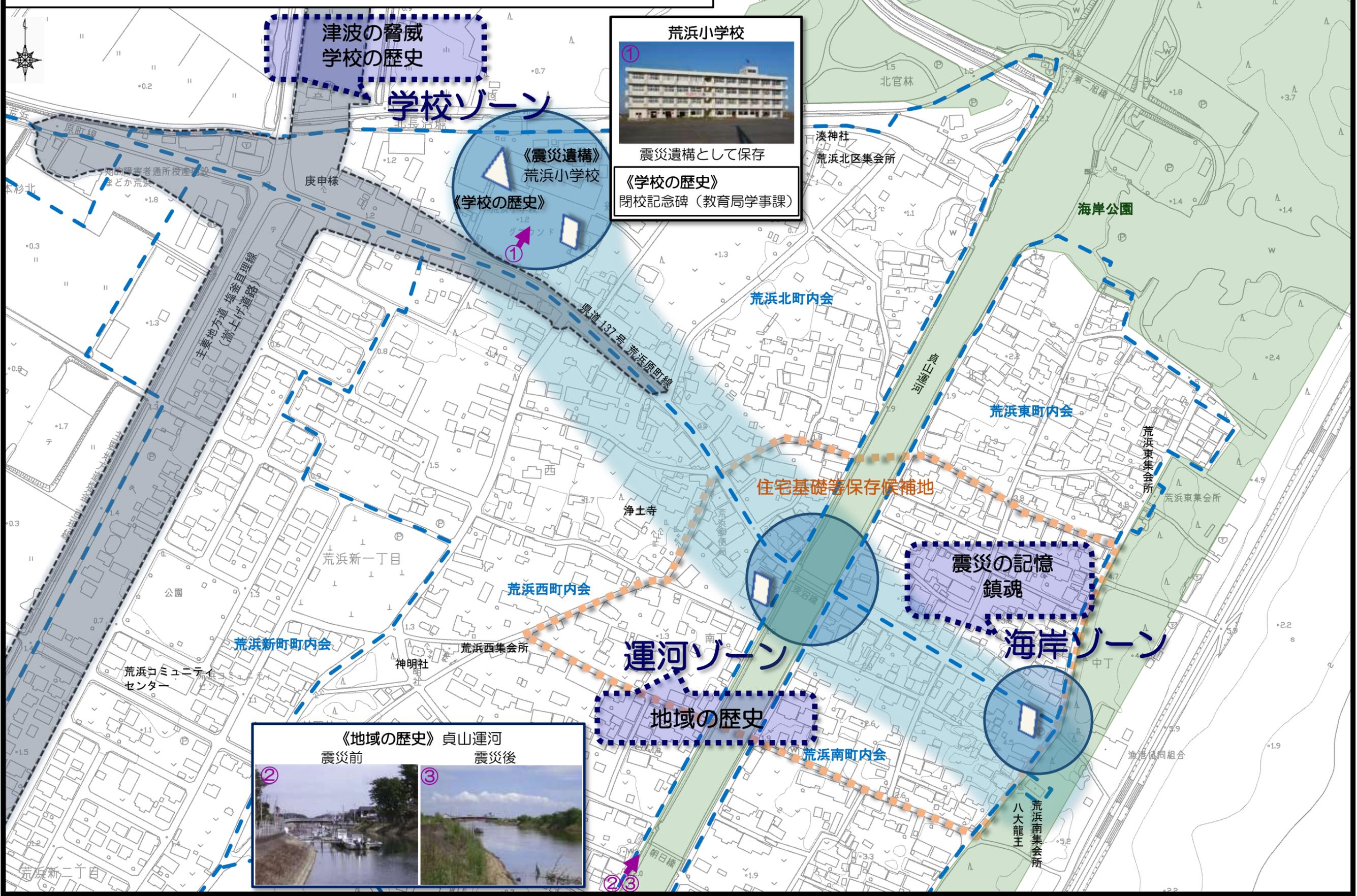
(2)緊急一時避難施設としての活用について

- ・現在、荒浜小は緊急一時避難施設として指定されており、遺構保存後も、当面、緊急一時避難施設としての機能(夜間の蹴破り等)を確保する。

荒浜小学校校舎 震災遺構保存・活用（案）



荒浜地区 地域モニュメント等整備ゾーニング図



津波の脅威
学校の歴史

学校ゾーン

《震災遺構》
荒浜小学校
《学校の歴史》

荒浜小学校



①
震災遺構として保存
《学校の歴史》
閉校記念碑（教育局学事課）

震災の記憶
鎮魂

海岸ゾーン

運河ゾーン

地域の歴史

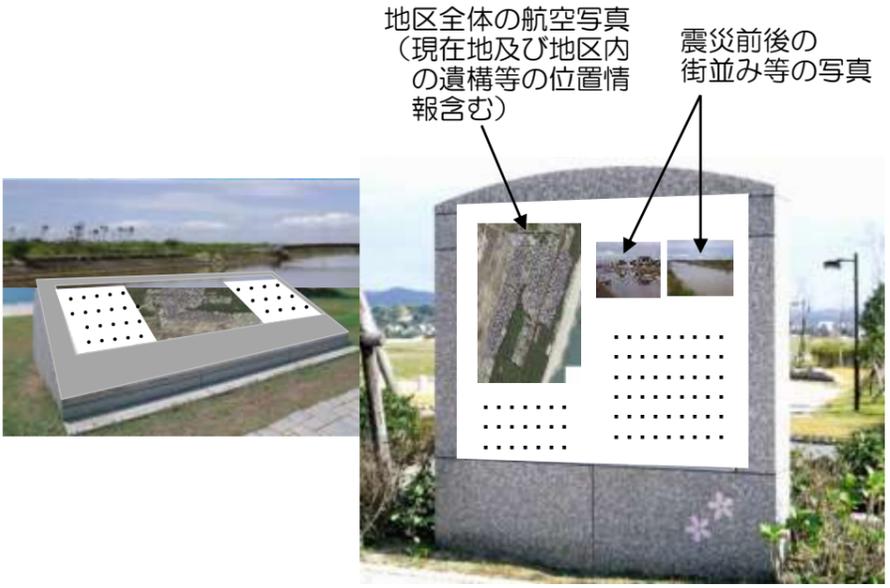
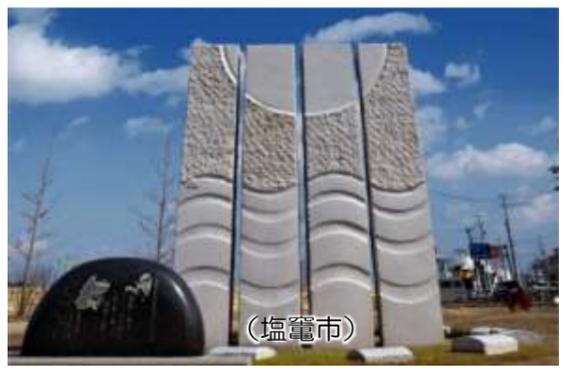
《地域の歴史》 貞山運河
震災前 震災後



② ③

住宅基礎等保存候補地

各ゾーンの整備方針（案）

	学校ゾーン	運河ゾーン	海岸ゾーン
伝えていくもの	津波の脅威 学校の歴史	地域の歴史	震災の記憶 鎮魂
整備する モニュメント等	<p>■震災遺構（荒浜小学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波の脅威を実感できる場として、荒浜小学校を震災遺構として保存する。 <p>■閉校記念碑</p> <ul style="list-style-type: none"> 140年にわたり荒浜のまちと共に歩んできた荒浜小学校の歴史を、後世に語り継ぐ。（担当：教育局学事課） 	<p>■地域の歴史を伝えるモニュメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災前後の街並み等を写真で残す。 地区全体の地域の歴史を碑文として刻む。 地区全体の航空写真に、現在地や地区内のモニュメント等の位置情報などを示し、案内板も兼ねたものを設置する。 	<p>■震災の記憶のモニュメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災の記憶や津波被害の大きさを伝える。 <p>■鎮魂のモニュメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 遺族・来訪者が手を合わせ、震災の犠牲者や被災地域を悼み、思いを寄せる場として、モニュメントを整備する。
イメージ	 <p>荒浜小学校</p> <p>震災遺構</p>  <p>(表)</p>  <p>(裏)</p> <p>閉校記念碑（例）</p> <p>（校歌・校章・学校の沿革、波やかモメのイラストのイメージ）</p>	 <p>地区全体の航空写真（現在地及び地区内の遺構等の位置情報含む）</p> <p>震災前後の街並み等の写真</p> <p>地域の歴史を伝えるモニュメント（例） （地区全体の案内板も兼ねる）</p>   <p>震災前後写真の例（深沼橋南側より） 写真：「オモイデピース」より転載</p>	 <p>(塩竈市)</p> <p>鎮魂のモニュメント（例）</p>   <p>震災前後写真の例（旧深沼海岸バス停付近） 写真：「オモイデピース」より転載</p>